輝いてます

北島選手に近づくことで、五輪や世界が見えてくるはず

山下　誠さん（福釜町・20歳・中央大）

第79回日本選手権水泳大会100m平泳ぎで２位。７月にスペインで行われる世界選手権に日本代表として出場。

昨年の４位に続き、今年の日本選手権では２位へ。堂々たる成績で、ついに世界の舞台へと向かう山下誠（まこと）さん。とても謙虚な態度でありながら、しっかりと将来を見据え、自信に満ちた表情で現在の心境を語ってくれました。

日本選手権２位は山下さんにとってどういう意味を持っていますか？

まず、世界選手権に出たいという気持ちが強かったので、２位とはいえ、素直にうれしかったです。

これでこの部門において、山下さんより上位にいる日本人は、200mで世界記録を持つ北島康介（こうすけ）選手だけになりましたが。

とても大きな存在であり、もちろん目標でもあります。北島選手のおかげで、日本の平泳ぎ陣営は世界で戦っているという実感がありますから。でもいつか勝ちたいとも思っています。

現在の日本水泳陣はマスコミへの露出も多く、とても盛り上がっているように見えますが？

そうですね。日本代表の雰囲気はとてもいいです。敵味方関係なしで仲がよく、すごく楽しいですよ。

さて、現在の山下さんの大活躍を支えているもの、それは一体何ですか。

それはもう家族です。小さいころ、毎日毎日スイミングスクールに送迎してくれました。それに今でも試合になれば、必ず家族みんなで応援に来てくれます。本当に感謝しています。７月にスペインで行われる世界選手権にも応援に来てくれますので心強いです。

では最後に、その世界選手権の抱負を聞かせてください。

レースは自分をアピールする場だと思っています。今回は世界が舞台。世界中の人々に僕の最高の泳ぎを見てもらいたいですね。

ぴいえす

スイミングスクール時代の元コーチ
加藤隆文（たかふみ）さん
（榎前町）

小さいころから、負けん気は人の倍以上ありましたね。負けると、本気で泣いて悔しがってましたから。この１年が勝負の年。がんばれ誠！